

美容室「株式会社ハーモニー」の働き方改革

海老名市上郷にある、スタッフ全員がママさんの美容室「株式会社ハーモニー」。「女性の活躍推進事業所」として、市から表彰された実績もあります。今回はそんな女性が輝く職場を、男女共同参画推進員（市民公募委員）が訪問しました！



株式会社ハーモニーは、育児をしながら勤務がしやすいよう、「午後4時閉店の時短営業」「毎週日曜日を定休日」としています。スタッフ全員に育児経験があるため、お互いをフォローしあいながら働いています。例えば、子どもの体調により急な休みを取るときも気がねすることなく、お互い様だという風土が出来ています。

また、ハーモニーは「日本一のホスピタリティ」を目標としており、スタッフの家庭と仕事の両立を大切にしながらも、お客様のおもてなしに手を抜きません。月1回の「ハーモニーミーティング」ではスタッフの一人ひとりが工夫してアイデアを出しあい、お客様に「また来たい」と思ってもらえるようなサービスを追求しています。例えば、お客様にお出しするスリッパやカットクロスは使いまわしせず、一つずつ清潔なビニールの袋に入れ、お客様の目の前で開封しています。また、保育士がお客様のお子さんを預かる託児サービスがあるため、忙しいママさんも安心してカットやエステを受けることができます。

ハーモニーはどうして働きやすいの？

- ・美容師は全員正社員
- ・子どもを送迎しやすい午後4時閉店の時短営業
- ・毎週日曜の定休日、月3日の交代公休、一日・半日有給休暇などの休暇制度
- ・社会保障完備（雇用・労災・健康・厚生年金）
- ・出産・育児休業中の給付金あり
- ・研修制度によるスキルアップ
- ・社員旅行、家族ぐるみの交流会



▲ハーモニーの皆様、ありがとうございました！

美容業界は長時間労働が当然で、育児中の女性にとっては働きにくい環境であると言われます。そうした中で、時に「前例がないなら自分達で作ろう！」というチャレンジ精神を持って、ママさんの活躍する場を広げていければいいですね。

推進員の声 お話するスタッフさん方の瞳が輝いていたのが印象的でした。店内にはスタッフさん手作りの小物やお客様が描いた絵画が飾られ、地域の皆さんがくつろぐ憩いの場のような温かさを感じました



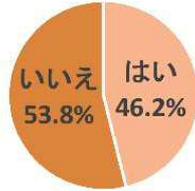
男女共同参画週間 啓発キャンペーン 6月23日～29日

政府は、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」としており、全国で男女平等に関する事業が実施されます。令和元年度のキャッチフレーズは『男女共同参「学」』『知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる』でした。海老名市も週間に連動し啓発活動を行いました。

「ワーク・ライフ・バランス」の意味を知っていますか？



家庭での家事分担が家族の間で対等だと思いますか？



街頭キャンペーン「クイズ 100人に聞きました」

海老名駅自由通路にて、男女共同参画推進員とえび〜にゃが街頭啓発キャンペーンを行いました。ワーク・ライフ・バランスに関する質問に、約100の方が答えてくれました(左図参照)。



ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。仕事と、育児や介護、趣味、学習、休養、地域活動といった仕事以外の生活との調和を取り、その両方を充実させる生き方のこと。

推進員の声 沢山の方がバランスのとれた生活を送りたいと考えていることがうかがえました。男の仕事、女の仕事とこだわらない意識で生活することが少子化を止める特効薬になると良いと思いました

学童保育の子どもたちと考える自分らしさ

学童保育「アンカー」にて、お子さんたち約30人に集ってもらい、推進員がジェンダーに関する紙しばい「あめの日が好き」や絵本の読み聞かせを行いました。

お子さんたちは、えび〜にゃと一緒に、和気あいあいと推進員のお話に聞き入ってくれました。

推進員の声 あかるい希望を感じて、嬉しくなりました。幼い頃からの平等教育が大事ですね。みんな、キラキラしていました！



▲みんなイキイキしていますね♪



▲有馬図書館の素敵なディスプレイ！

図書館コラボ 知る・学ぶ・考える男女共同参「学」

有馬図書館と連携し、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスに関する図書を特集コーナーとして展示しました。

また、海老名駅自由通路のデジタルサイネージにてPR映像を放送するほか、市役所エントランスホールでは「パネルこんな子いるよね」を展示しました。

女性の活躍推進事業所を表彰



令和元年度
海老名市女性の活躍推進事業所表彰式
令和2年1月11日

市は、毎年、女性の能力を活用し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる市内事業所を募集・表彰しています。

今年度は、はばたき第54号にて特集した「株式会社島忠海老名店」を、男女共同参画協議会委員が視察・選考し、令和2年1月11日に表彰式を執り行いました（後述の男女共同参画講演会と同時開催）。

株式会社 島忠 海老名店

家具やインテリアなどのファニチャー関係の大型専門店です（大谷北）。

- 出産・育児・介護・働き方など、家庭生活を大切にしながら働くための制度が充実
- 育児中の従業員の情報交換の場や、悩みを共に解決する相談窓口を従業員に提供
- キッズルームや授乳スペースが完備された売り場など、現場のアイデアを積極的に採用



◀2階キッズコーナーには、授乳スペースやおむつの自動販売機等が完備！

第3次海老名市男女共同参画プランを策定

「第3次海老名市男女共同参画プラン（第3次プラン）」は、男女が共に助け合い、それぞれの能力を発揮できる、活力にあふれた「男女共同参画のまち海老名」を目指すために策定された海老名市の計画です。第2次プラン策定後の社会の変化や、市の課題などを踏まえて作成しました。期間は令和2年度から6年度までの5年間です。

計画の中では、「多様な性に関する理解の促進」や「待機児童問題」、「様々なドメスティック・バイオレンス」など、新たに取り組むべき課題についても取り上げています。

男女が平等な社会を実現するため、市は更に取り組みを進めてまいります。これを機に、皆様にお互いを大切にする暮らしやすいまちについて考えていただければ幸いです。

基本方針

- 1 あらゆる分野における男女共同参画の推進
- 2 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現
- 3 暴力の根絶と被害者への支援



▲プランは市HPから閲覧できます！



松田朋恵アナ講演「言葉で伝えるアイ&愛メッセージ」

男女共同参画講演会にて「テレビ寺子屋」から学ぶコミュニケーション

当初、令和元年度男女共同参画講演会の講師をお願いしていましたアナウンサー・笠井信輔（かさいしんすけ）さんが、ご自身の健康の問題により講師を辞退されたため、講師を変更して令和2年1月11日に開催しました。講師は、40年近く続く全国ネットの老舗番組『テレビ寺子屋』にて、1998年から14年間司会をつとめていたアナウンサー・松田朋恵（まつだともえ）さんです。



松田さんは笠井さんのフジテレビの先輩で、「笠井くんは必ず元気になって戻って来てくれると思いますので、皆さんも期待してください！」と明るく参加者の皆さんに声をかけてくださいました。

また、松田さんはご自身の経験をもとに、「セクハラ・パワハラ・いじめ等、ハラスメント問題は相手との気持ちのズレから生じます。これを防ぐためには、自分の感情を言葉にすることで整理し、相手に理解してもらえよう伝えましょう」と呼びかけました。

推進員の声 一般的な「アイメッセージ」という言葉は、相手を批判するのではなく自分が困っていることを伝えるという考え方だと思います。たとえば「共働きなのにあなたが家事をしないのはおかしい」というのではなく、「私は仕事から帰って一人で家事をするので、時間に追われるしとても疲れる」というように。松田さんの言う「愛メッセージ」では「私はあなたが家事を手伝ってくれると、とても助かる」ということのようにでした。相手を批判しないだけにとどまらず、肯定的な思いを伝えることができると良いと思いました。

知っていますか？男女共同参画用語

「ワンオペ育児」



ワンオペは「ワン・オペレーション」の略。配偶者の単身赴任や帰宅が深夜になる等の要因から、1人で育児をしている状況を指す言葉として使われています。

相談係より

市では、「女性相談員による女性のための相談」を実施しています。夫やパートナー男性からの暴力・女性の悩みについて一緒に考えます。

女性相談ダイヤル ☎046-231-2224 月～金（祝日除く）8：30～16：30



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

※その他に 海老名女性支援電話「そよ風」

（非営利のボランティア組織）による相談もあります。

☎046-235-7353 火：10:00～15:00/金：13:00～16:00（無料）



発行 海老名市 市民相談課 人権男女共同参画係

電話 046-235-4568（直通）

*市HP（<http://www.city.obina.kanagawa.jp>）でも閲覧できます。



海老名市
住みたい 住み続けたいまち